

協働事業提案書

NO. 2

1. 事業名	市民へのより良いスポーツ環境の提供
2. 提案者	NPO法人 リアライズ
3. 事業の目的	<p>バスケットボールをしたいが個人ではできない、また、大和市の小学校には正規のバスケットボールコートが無く5つあるミニバスチームは他の市に比べ恵まれない環境にある。そんな現状を解決して行くと共に、より高いレベルを子供達に伝えて行くこと、また、スポーツ医学・栄養学・トレーニング方法などの専門知識を普及して行き安心してスポーツに取り組める環境をつくり、その環境をバスケットボール以外の競技にも広められる環境造り。</p> <p>子供達に、学校以外で得られる集団の場を提供する。</p>
4. 事業の内容	<p>小学生向け大和スポーツセンター・バスケットボール開放日の開設と運営。</p> <p>中学生以上への同バスケットボール開放日の開設と運営。</p> <p>小中学生対象のバスケットボール教室の開催</p> <p>全スポーツ対象のスポーツ医学、栄養学講座等の開講。</p> <p>スポーツ相談室の開設と運営。</p> <p>子供の居場所づくり</p>
5. 提案の理由	<p>市の事業として展開する事による、公共性の強調とより多くの市民に知ってもらえる事、また、会場の安定供給、更に他の競技への展開のし易さ。</p>

6. 市に期待する役割	1. 情報の提供・共有 2. 活動場所の提供 3. 広報活動 4. 説明会等への参加 5. 行政機関等との連絡調整 6. その他 ご自由にお書き下さい。
7. 事業期間	3年（継続して活動できる土壌ができるまで）
8. 事業に要する経費	体育館使用料 200,000円/年 講師料 200,000円/年 運営人件費 1,500,000円/年 スポーツ相談室、子供の居場所づくりは、方法・規模により変動幅が大きいので、事業 ~ までの予算
9. 事業の効果	誰でも気軽にスポーツに参加できる環境から、地域の活性化と広いコミュニケーションの構築。
10. その他	中学校・高校のクラブ活動には大勢の部員が居るのに、その前後、小学生、一般となると激減してしまう。その背景には、色々な理由の敷居の高さがあり気軽にはじめる事ができない、またクラブ活動には入れないがスポーツがしたい学生の存在、そんな現状を一步前進させたい。

連絡担当者	氏名：市川新二 住所：大和市下鶴間1786-1 ライオンマンション中央林間第7.206 電話：046-276-8102 ファックス： メール： kyamamoto87@hotmail.com メールのみ山本一仁
-------	--

【その他お願い】

提案者の資格について

*新しい公共に参加する意思のある市民、市民団体、事業者が対象です。

*事前に登録が必要です。

*公開プレゼンテーション（6月12日予定）や公開検討会（7月17日予定）に参加していただきます。

記入欄が足りない場合は、主な内容を記入した上で「詳細は別添資料のとおり」と記入して、別紙資料を添付していただいても構いません。

提出は、電子メール、FAX、郵送、窓口直接のいずれの方法でも構いませんが、事務処理の都合により、なるべく電子メールで提出くださるよう、ご協力をお願いいたします。

受付期間内[4月1日(金)～5月31日(火)]必着です。

書式(ワード)は、市民活動課のホームページからダウンロードできます。

<http://www.city.yamato.kanagawa.jp/katudo/suishinkaigi/jigyo/index.html>

提案後のスケジュールなど詳しくは「協働事業事始め」をご覧ください。